

モモ優良台木選定のための特性調査

福島県農業総合センター果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹—モモ—その他

2 担当者

阿部和博・額田光彦・斎藤祐一・湯田美菜子・志村浩雄

3 要旨

モモの優良台木を選定するため、8種類の台木について比較したところ、主幹の障害が認められず、健全な生育を示したのは「長野野生桃」及び「ひだ国府紅しだれ(以下、「紅しだれ」)」である。なお、「長野野生桃」は対照台木の「おはつ」に対して同程度の収量だが、「紅しだれ」は幹の肥大が劣り収量が少ない。

- (1) モモの台木として注目されている8種類の台木について、「ゆうぞら」を接ぎ木し、7年生までの生育を比較した。
- (2) 「長野野生桃」及び「紅しだれ」は、樹体の枯死や主幹の障害が認められなかった(表1)。
- (3) 「長野野生桃」は樹冠の拡大及び主幹断面積、累積収量ともに、対照の「おはつ」と同程度であった(図1、2、3)。
- (4) 「紅しだれ」は対照の「おはつ」に比べて主幹の肥大が劣り、収量も少なかった(図1、2、3)。

表1 台木別の主幹障害及び凍害割合

台木	供試 樹数	枯死 樹数	障害 樹数	障害指数						
				0	1	2	3	4	5	6
長野野生桃	3	0	0	3						
筑波9号	3	0	3		1				1	1
ネマガード	3	0	3		3					
モモ台選抜	3	0	1	2			1			
筑波4号	3	0	2	1	1			1		
紅しだれ	3	0	0	3						
弘子台	3	1	3		2					1
おはつ(対照)	3	0	1	2	1					

注)障害指数は、0:無、1:表皮のみ亀裂、2:皮層部亀裂、3:凍害10cm未満、4:凍害10~30cm、5:凍害30cm以上、6:皮層木質褐変枯死。

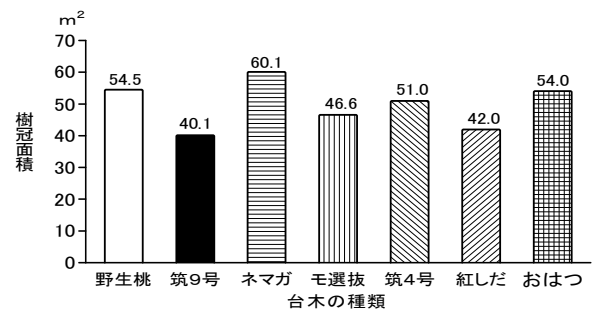


図1 樹冠の拡大(2014年)

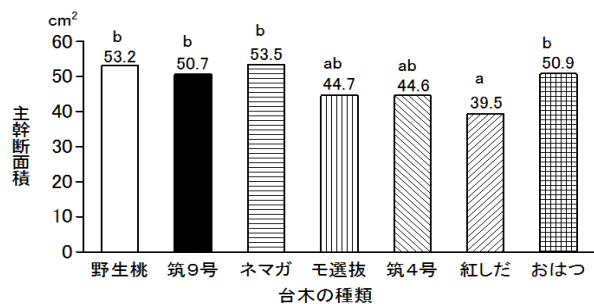


図2 主幹断面積(2014年)

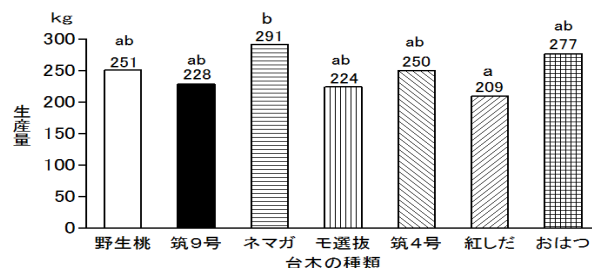


図3 累積収量(2010~2014年)

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 成23年度~26年度

(2) 研究課題名

モモ連作障害を克服する台木の選定と栽培管理
技術の確立

(3) 参考となる成果の区分

(指導参考)

5 主な参考文献・資料

平成25年度参考となる成果

モモ優良台木の選定における台木別の生育と
生産特性